

● 基本的な使いかた

電話をかける.....	86
電話番号を入力してかける.....	86
電話番号入力時のメニューを使う.....	86
最も強い電波を選択する(しっかりンク).....	87
発信履歴から電話をかける.....	87
発信履歴画面のメニューを使う.....	88
着信履歴から電話をかける.....	88
着信履歴画面のメニューを使う.....	89
自分の電話番号を相手に通知する(発信者番号通知)(機能番号14).....	89
国際電話をかける.....	90
WX300Kから海外へかける場合.....	90
海外から日本国内のWX300Kへかける場合.....	90
電話を受ける.....	91
電話がかかってきたら.....	91
エニーキーアンサーを設定/解除する(エニーキーアンサー)(機能番号15).....	91
通話中に保留する(ミュート).....	92
かかってきた電話を留守応答する.....	92
通話中にプッシュ信号を送る.....	92
ダイヤルキーを使ってプッシュ信号を送る.....	93
発信履歴/着信履歴からプッシュ信号を送る.....	93
アドレス帳に登録したプッシュ信号を送信する.....	93
メインメニューから機能呼び出す.....	94
項目を選んで機能呼び出す.....	94
機能番号を入力して機能呼び出す.....	95
カスタム機能を使う.....	96
カスタム機能から機能呼び出す.....	96
機能をカスタム機能に登録する.....	96
カスタム機能を編集する.....	96
音声メモ/伝言メモを使う.....	97
通話中に相手の声を録音する(音声メモ).....	97
電話に出られないときに相手の用件を録音する(伝言メモ).....	97
伝言メモを設定/解除する.....	98
伝言メモ機能の応答時間や応答メッセージを設定する.....	98
応答時間を設定する(伝言メモ応答時間)(機能番号205).....	98
応答メッセージを設定する(応答メッセージ選択)(機能番号204).....	99
伝言メモの応答メッセージを録音する(応答メッセージ録音/再生)(機能番号203).....	99
音声メモや伝言メモを再生/消去する.....	100
再生する.....	100
消去する.....	100
安全運転モードを設定する(機能番号29).....	101
応答先を切り替える(機能番号291).....	101
安全運転モードを解除する.....	102
着信拒否する電話番号を設定する(着信拒否)(機能番号42).....	102
着信拒否を設定/解除する(機能番号421).....	103
着信拒否する電話番号を登録/編集/解除する(指定番号一覧)(機能番号422).....	103
着信拒否に登録した電話番号を削除する.....	103
電話番号を通知してこない着信を拒否する(機能番号423/424/425).....	104
拒否した着信の履歴を残す(機能番号426).....	104
着信拒否設定をすべて解除する(機能番号427).....	104

● 電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で








電話番号を入力し、 ▶ 通話が終わったら 



 ● **ご注意**

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS / 携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- 受話口から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
 - ・電波が非常に弱い地域
いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
 - ・回線が混んでいる / 相手が通話中
いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。

 ● **お知らせ**

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 入力中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・入力を間違えたときは  を押します。  を押すごとに下1桁を削除します。
 - ・途中の番号を間違えたときは  でカーソルを移動させ、希望の位置に番号を追加したり、削除したりできます。
- 相手がPHS / 携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、接続できないことを音声ガイダンスでお知らせします。
- 最初に  を押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 特定のISDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。
 - 電話番号を入力 ▶  ▶ サブアドレス (ISDN独自の番号) ▶ 
 - 入力できるダイヤル桁数 (電話番号 +  + サブアドレスの桁数の合計) は32桁までです。

■ 電話番号入力時のメニューを使う

電話番号入力時のメニューから以下の操作を行い、電話をかけることができます。

待受画面で

電話番号を入力 ▶  (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。





184発信	入力した電話番号に184発信 (自分の電話番号を通知しない) します。
186発信	入力した電話番号に186発信 (自分の電話番号を通知する) します。
分計発信	入力した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます (「料金分計サービスについて」280ページ)。
184分計発信	入力した電話番号に、184発信 (自分の電話番号を通知しない) と料金分計サービスを利用して電話をかけます (「料金分計サービスについて」280ページ)。
186分計発信	入力した電話番号に、186発信 (自分の電話番号を通知する) と料金分計サービスを利用して電話をかけます (「料金分計サービスについて」280ページ)。

■ 発信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

 ▶ 発信履歴を選択 ▶  (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。

発信	選択した電話番号に電話をかけます。
184発信	選択した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
186発信	選択した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
分計発信	選択した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
184分計発信	選択した発信履歴の電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
186分計発信	選択した発信履歴の電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
アドレス帳へ登録	▶ 「新規登録」を選択し、  【選択】 履歴の内容が反映されたアドレス帳を新たに登録します（「アドレス帳に登録する」120ページ）。
	▶ 「追加登録」を選択し、  【選択】 アドレス帳に電話番号を追加して登録します（「他の機能からアドレス帳に登録する」124ページ）。アドレス帳検索画面が表示され、アドレスを選択し追加します。
ライトメール作成	履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」148ページ）。
表示切替	履歴表示を「リスト表示」と「通常表示」に切り替えます。
ダイヤル編集	選択した電話番号を編集し、その電話番号に電話をかけることができます。
1件削除	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 選択した履歴を削除します。
全件削除	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 履歴すべてを削除します。

着信履歴から電話をかける

かかってきた相手の電話番号は、着信履歴として20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で

 ▶ 着信履歴を選択し、

 ● ご注意

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されているアドレス帳の情報（名前／種別／画像）は表示されません（「シークレットモードを設定／解除する」245ページ）。

着信履歴概略
表示画面



お知らせ

●着信履歴を選択するときは、以下の手順で行います。

🕒：新しい履歴順に表示します。

🕒：古い履歴順に表示します。

●着信履歴／不在着信履歴を表示するには、以下の手順でも行えます。

待受画面で🕒【メニュー】▶️🔍【機能】を選択し、🕒【選択】▶️1▶️3▶️2▶️【着信履歴】または3▶️【不在着信履歴】

●着信履歴の詳細（着信履歴詳細表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。

着信履歴概略表示画面で着信履歴を選択し、🕒【表示】

・着信履歴詳細表示画面

- 1：履歴番号、未応答アイコン
- 2：名前（アドレス帳に登録されているとき）
- 3：電話番号または非通知理由
- 4：着信日時
- 5：通話時間
- 6：画像（アドレス帳に登録されているとき）

●着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

🕒：不在着信（電話に出られなかった場合）

🕒：着信拒否（着信拒否機能により着信を拒否した場合、「拒否した着信の履歴を残す」104ページ）

🕒：伝言メモあり（伝言メモ（97ページ）／安全運転モード（101ページ）で相手のメッセージを録音している場合）

着信履歴概略表示画面



●電話をかける

■着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

🕒▶️【着信履歴を選択】▶️🕒(F2)【メニュー】▶️🔍【項目を選択】

着信履歴画面のメニューは発信履歴画面のメニューと同様です。「発信履歴画面のメニューを使う」（88ページ）をご参照ください。

自分の電話番号を相手に通知する（発信者番号通知）

機能番号14

電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定することができます。

待受画面で

🕒【メニュー】▶️🔍【機能】を選択し、🕒【選択】▶️1▶️4▶️

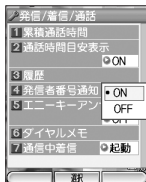
【ON】を選択し、🕒【選択】

🕒。ご注意

●パケット通信をする場合は、発信者番号通知を「ON」に設定してください。

●PIAFS通信をする場合も、プロバイダによっては発信者番号通知を「ON」に設定する必要があります。

お買い上げ時：
【ON】



国際電話をかける

ウィルコム国際電話サービス（手続き不要）を利用して、世界約240の国と地域へかんたんなダイヤル方法で手軽に国際電話をかけることができます。

■ WX300Kから海外へかける場合

例：アメリカの「212-123-△△△△」へかける場合

待受画面で



● ご注意

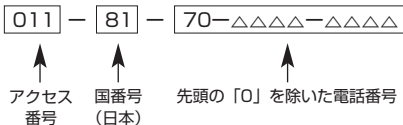
- 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国と地域を除く）。

● お知らせ

- ウィルコム国際電話サービスについて
 - ・ 国際電話をご利用の際、ウィルコムへのお申し込みは不要です。
 - ・ 国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただいております。ご利用限度額を超過したと確認できた時点から、国際電話サービスがご利用（発信のみ）いただけません。超過時はライトメールでお知らせします。
 - ・ 国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
 - ・ 国際通話料金は、毎月のウィルコムのご利用料金と合算してのご請求となります。
 - ・ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

■ 海外から日本国内のWX300Kへかける場合

例：アメリカからウィルコムの電話「070-△△△△-△△△△」へかける場合



● ご注意

- アクセス番号は、国によって異なります。

● 電話を受ける

電話がかかってきたら

着信中に

📞を押す

電話を受けることができます。
エニーキーアンサーを設定している場合は、**0**、**9**、*****、**#**、**(F1)**、**(F2)**、**☑**、**📞**、**📞**でも電話を受けることができます。

📞。ご注意

- 電話の着信は、すべての操作に優先して行われます。
- パケット通信中の電話の着信設定（259ページ）が「停止」の場合、パケット通信中は着信できません。

📞お知らせ

- 着信中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **📞**：着信音量を調節します。
 - ・ **🔊**：着信音を停止させてバイブレータの振動に切り替えます（「着信中に着信音をバイブレータに切り替える」232ページ）。
 - ・ **🔊**：着信音およびバイブレータを停止させます。
 - ・ **📞**（サイドキー）：留守応答にします（「かかってきた電話を留守応答する」92ページ）。
- 電源をOFFしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます（「着信転送サービスについて」279ページ）。
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。

■ エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー） 機能番号15

電話がかかってきたとき、**📞**、**0**、**9**、*****、**#**、**(F1)**、**(F2)**、**☑**、**📞**、**📞**のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。
エニーキーアンサーを解除すると、**📞**のみで電話を受けるようにすることができます。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

📞【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、**📞**【選択】 ▶ **1** ▶ **5**

以下の項目から選択します。

ON	エニーキーアンサーを設定します。
OFF	エニーキーアンサーを解除します。

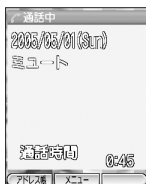


通話中に保留する（ミュート）

通話中に相手に待っていただきます。保留中はお互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

- 1 **#2** を長く（約1秒以上）押す
通話を保留します。
- 2 通話できる状態になったら **#2** を長く（約1秒以上）押す
相手と通話ができます。



かかってきた電話を留守応答する

着信中の電話に出られないときは、着信中にキー操作を行うことで、一時的に伝言メモ機能で設定している応答メッセージで自動応答し、相手のメッセージを録音することができます。

着信中に

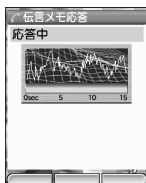
[]（サイドキー）を押す

● ご注意

- 上記の操作を行っても、伝言メモ設定の状態は変わりません。

● お知らせ

- 録音ができない場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを再生し、電話を切ります。



通話中にプッシュ信号を送る

“ピッポッパッ”というプッシュ信号を送るにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用することができます。アドレス帳や発信履歴に登録したダイヤルをプッシュ信号で送出する際に、番号と番号の間に「P（ポーズ）」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させることができます。

● ご注意

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、アドレス帳に登録しておく必要があります。
- 通話中にダイヤルメモ画面（258ページ）が表示されている場合、**[F1]** キーを押してアドレス帳画面を表示させることができます。ダイヤルメモ画面に表示されている文字を **[]** で削除してください。

● お知らせ

- P（ポーズ）を入力するには、以下の手順で行います。
番号入力画面でP（ポーズ）を入力する前までの番号を入力 ▶ **[]**（サイドキー）を2回押す
入力した番号の後にP（ポーズ）が表示されます。

ダイヤルキーを使ってプッシュ信号を送る

通話中に

番号を入力する

(例：070△△△△△
△△△△と入力した
場合)



発信履歴／着信履歴からプッシュ信号を送る

通話中に

⊙ (着信履歴) または ⊙ (発信履歴) ▶ プッシュ信号を送る履歴を選択 ▶ ⊙ (F2) [メニュー] ▶ 「一括送付」を選択し、⊙ [選択]

アドレス帳に登録したプッシュ信号を送信する

「P (ポーズ)」で区切られた番号ごとに送信します。

例：△△銀行の残高照会のために、銀行のID番号「6666」と口座番号「9999」を送信する場合 (この場合、アドレス帳に『6666P9999』と登録しておきます)

△△銀行へ通話中に

1 ⊙ (F1) [アドレス帳] ▶ アドレス帳を選択し、⊙ [表示] ▶ プッシュ番号を登録した項目を選択 ▶ ⊙ (F2) [メニュー]

2 「一括送付」を選択し、⊙ [選択]
ID番号「6666」までを送信します。

3 ⊙ を押す
口座番号「9999」を送信します。

機能番号を入力して機能呼び出す

メインメニューで、機能番号をダイヤルキーで入力して呼び出します。機能番号を覚えておくと、すばやく呼び出すことができます。各機能番号とその機能内容については、「機能一覧」(302ページ)をご参照ください。

待受画面で

例：機能番号211 着信音量（全着信）

● [メニュー] ▶ (2) (1) (1) (1)

メインメニュー画面



着信音量設定画面



(2) (1) (1) (1)

○ (F1) [戻る] を3回押し、

または

(F2) を4回押す

● メインメニューから機能呼び出す

● 音声メモ／伝言メモを使う

音声メモを使って通話中に相手の声を録音したり、伝言メモ（WX300K留守録機能）で電話に出られないときに応答メッセージを流して相手の伝言を録音したりすることができます。

通話中に相手の声を録音する（音声メモ）

通話中に相手の声を録音します。

録音件数は、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード（101ページ）時に録音した相手のメッセージと合わせて、3件まで録音できます。1件の録音時間は約15秒までです。

通話中に

〔サイドキー〕▶約15秒経過または●【終了】で録音終了

● ご注意

- 録音件数が、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード（101ページ）時に録音した相手のメッセージと合わせて、すでに3件登録されている場合は、「録音件数に空きがありません」と表示され、録音はできません。

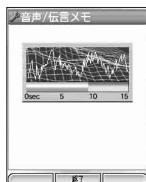
● お知らせ

- 音声メモが録音されているときは、待受画面に「📞」が表示されます。

- 音声メモの録音は、以下の手順でも行えます。

通話中に●【メニュー】▶「機能」を選択し、●【選択】▶2▶0▶1▶1▶

- 録音できるのは相手の声だけです。自分の声は録音されません。



電話に出られないときに相手の用件を録音する（伝言メモ）

電話に出られないとき、自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。

録音件数は、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード（101ページ）時に録音した相手のメッセージと合わせて、3件まで録音できます。1件の録音時間は約15秒までです。

● お知らせ

- ウィルコムで提供している留守番電話サービス（「留守番電話サービスについて」278ページ）とは異なります。
- WX300Kの伝言メモと、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、WX300Kの伝言メモ応答時間と留守番電話センター呼び出し時間で短く設定されている方が優先されます。応答時間を変更するには「応答時間を設定する」（98ページ）、留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」（279ページ）をご参照ください。

■ 伝言メモを設定／解除する

待受画面で

□ (サイドキー) を長く (約1秒以上) 押す

WX300Kがオープン状態のときに操作を行ってください。

● ご注意

- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数が、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード (101ページ) 時に録音した相手のメッセージと合わせて、すでに3件登録されている場合は、応答メッセージが自動的に「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直してください。」に変わります。伝言メモ応答時に応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

● お知らせ

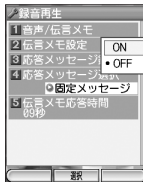
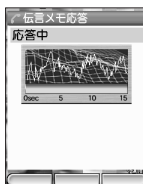
- 伝言メモの設定／解除は、以下の手順でも行えます。

待受画面で ● 【メニュー】 ▶ 【機能】 を選択し、 ● 【選択】 ▶ 2.2 ▶ 0.2 ▶ 2.2 ▶ 【ON】 または 【OFF】 を選択し、 ● 【選択】

- 伝言メモを設定すると、待受画面に「☎」が表示されます。
- 伝言メモ録音動作中 (応答メッセージ再生中や録音中) に、☎ を押すと、伝言メモ録音動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。
- 伝言メモ応答時間は、「0秒」～「30秒」 (1秒単位) の範囲で設定できます (「応答時間を設定する」同ページ参照)。
- 応答メッセージは、固定メッセージとオリジナルメッセージから選択することができます (「応答メッセージを設定する」99ページ)。

お買い上げ時：
「OFF」

伝言録音中画面



伝言メモ機能の応答時間や応答メッセージを設定する

伝言メモを設定したときの応答時間や応答メッセージを設定します。

■ 応答時間を設定する (伝言メモ応答時間)

機能番号205

電話がかかってきてから伝言メモで応答を開始するまでの時間を設定します。応答時間は、「0秒」～「30秒」 (1秒単位) の範囲で設定できます。

お買い上げ時：
「9秒」

待受画面で

- 1 ● 【メニュー】 ▶ 【機能】 を選択し、 ● 【選択】 ▶ 2.2 ▶ 0.2 ▶ 5.2
- 2 伝言メモ応答時間 (0秒～30秒) を入力し、 ● 【確定】

応答メッセージは、自分で録音するオリジナルメッセージと固定メッセージから選択できます。

お買い上げ時：
「固定メッセージ」

待受画面で

●【メニュー】▶【機能】を選択し、●【選択】▶(2)【2ABC】▶(0)【0】▶(4)【4On】

以下の項目から選択します。

固定メッセージ	「ただ今電話に出ることができません。ピーツと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
オリジナル	自分で録音した応答メッセージが流れます（「伝言メモの応答メッセージを録音する」同ページ参照）。

お知らせ

●選択中に○（F2）【再生】を押すと、選択したメッセージを再生することができます。●【停止】を押して「終了」を選択し、●【選択】を押すと再生を終了します。

伝言メモの応答メッセージを録音する（応答メッセージ録音／再生） 機能番号203

伝言メモの応答メッセージを録音します。
応答メッセージは1件、約15秒まで録音できます。

待受画面で

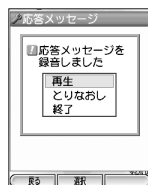
●【メニュー】▶【機能】を選択し、●【選択】▶(2)【2ABC】▶(0)【0】▶(3)【3DEF】▶録音開始▶

約15秒経過または●【終了】で録音終了

確認画面が表示されます。

確認画面では以下の操作を行うことができます。

再生	録音した応答メッセージを再生します。
とりなおし	応答メッセージを録音し直します。
終了	応答メッセージを保存します。



音声メモや伝言メモを再生／消去する

音声メモと伝言メモに録音された内容を待受中や通話中に聞くことができます。

■ 再生する

待受画面で

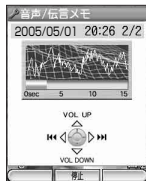
〔サイドキー〕 ▶ ① [音声／伝言メモ再生] ▶ 再生開始

待受画面／通話中に

● 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、● 【選択】 ▶ ② [か] ▶ ③ [0] ▶ ④ [1] ▶ ⑤ [2]

お知らせ

- 通話中に音声メモを再生すると、音声メモの内容は相手と自分の両方に聴こえます。
- 再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - : 音量を調節できます。
 - 【開始】を押すと、前の音声メモ／伝言メモが再生されます。
 - 【開始】を押すと、次の音声メモ／伝言メモが再生されます。
 - 【停止】 : 再生が停止します。



■ 消去する

待受画面で

● 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、● 【選択】 ▶ ② [か] ▶ ③ [0] ▶ ④ [1] ▶ ⑤ [3]

以下の項目から選択します。

① 1件目	▶ 「はい」を選択し、● 【選択】 1件目に録音した音声／伝言メモを消去します。
② 2件目 ^{*1}	▶ 「はい」を選択し、● 【選択】 2件目に録音した音声／伝言メモを消去します。
③ 3件目 ^{*1*2}	▶ 「はい」を選択し、● 【選択】 3件目に録音した音声／伝言メモを消去します。
④ 全件削除 ^{*3}	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、● 【選択】 すべての音声／伝言メモを消去します。

*1 : 音声メモの録音件数が1件のときは、表示されません。

*2 : 音声メモの録音件数が2件のときは、表示されません。

*3 : 音声メモの録音件数によって、表示される順番が異なります。

● 安全運転モードを設定する

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、メッセージを録音してもらうことができます。録音件数は、安全運転モード時の相手のメッセージ・伝言メモ（97ページ）・音声メモ（97ページ）と合わせて3件まで録音できます。メッセージの再生/消去方法は「音声メモや伝言メモを再生/消去する」（100ページ）をご参照ください。

待受画面で

☎️を長く（約1秒以上）押す

🚫。ご注意

- 安全運転モードを設定すると、伝言メモ設定は解除されます。
- 相手がメッセージを録音しているときは、☎️を押しても通話できません。

📢お知らせ

- 安全運転モードに設定すると、待受画面に「🚫」が表示されます。
- 安全運転モードに設定すると、伝言メモの応答メッセージの設定にかかわらず、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただ今車を運転しています。ピーッと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
伝言の録音ができないとき	「ただ今車を運転しています。のちほどおかけ直してください。」

- 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

応答先を切り替える

機能番号291

安全運転モード設定中の応答先を切り替えることができます。
サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

お買い上げ時：
「電話機応答」

待受画面で

🗄️【メニュー】 ▶️ 【機能】を選択し、🗄️【選択】 ▶️ 2️⃣か 9️⃣ ▶️ 1️⃣

以下の項目から選択します。

電話機応答	WX300Kが応答します。
ネットワーク応答	ウィルコムの留守番電話センター（「留守番電話サービスについて」278ページ）で応答します。

🚫。ご注意

- ウィルコムの留守番電話サービスをご契約されていない場合は電話機応答を選択してください。



●「ネットワーク応答」に設定すると、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

「メッセージ録音あり」を選択したとき	「ただ今運転中のため、留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音の後に、60秒以内でメッセージを録音してください。」
「メッセージ録音なし」を選択したとき	「ただ今運転中のため、電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直してください。」

●「ネットワーク応答」に設定したときのメッセージの再生方法については、「メッセージを聞く」(278ページ)をご参照ください。

安全運転モードを解除する

待受画面で

(#)を長く(約1秒以上)押す

● 着信拒否する電話番号を設定する(着信拒否)

機能番号42

特定の電話番号や、電話番号が通知されない着信を拒否することができます。また、着信を拒否するときに相手に流すメッセージを設定したり、拒否設定の着信を着信履歴に記憶するかどうかの設定をすることもできます。登録できる電話番号は20件までです。

お買い上げ時：
「解除」

待受画面で

● [メニュー] ▶ 「機能」を選択し、● [選択] ▶ (4) ▶ (2) ▶ 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

① 指定番号拒否	特定の電話番号からの着信を拒否します(「着信拒否を設定/解除する」103ページ)。
② 指定番号一覧	着信拒否に登録した電話番号の一覧を表示します(「着信拒否する電話番号を登録/編集/解除する」103ページ)。
③ ユーザー非通知拒否	電話番号を通知してこない着信を拒否します(「電話番号を通知してこない着信を拒否する」104ページ)。
④ 公衆電話発信拒否	公衆電話からの着信を拒否します(「電話番号を通知してこない着信を拒否する」104ページ)。
⑤ 通知不可能拒否	発信者番号を通知する機能が付いていない電話など、何らかの理由で発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否します(「電話番号を通知してこない着信を拒否する」104ページ)。
⑥ 着信履歴保存	拒否した着信の履歴を残すかどうかを設定します。(「拒否した着信の履歴を残す」104ページ)。
⑦ 着信拒否全解除	着信拒否設定をすべて解除します。指定番号拒否に登録した電話番号は削除されます(「着信拒否設定をすべて解除する」104ページ)。

着信拒否画面



着信拒否画面で

お買い上げ時：
「解除」

① 「指定番号拒否」を押す

以下の項目から選択します。

① 拒否メッセージ	「この電話番号からの電話はお受けできません。」
② 解除	着信拒否を解除します。

お知らせ

- ① 「拒否メッセージ」を選択中、○ (F2) 【再生】を押すと、応答メッセージを再生することができます。
○ (F2) 【停止】を押すと再生を終了します。

着信拒否する電話番号を登録／編集／解除する（指定番号一覧） 機能番号422

着信拒否画面で

② 「指定番号一覧」 ▶ 登録／編集／解除する番号を選択し、● 【編集】

新規登録する場合：電話番号が空欄の行を選択します。

編集／解除する場合：登録されている電話番号を選択します。

以下の項目から選択します。

① 着信履歴引用	▶ 登録する電話番号を選択し、● 【選択】 着信履歴から拒否する電話番号を登録します。
② 発信履歴引用	▶ 登録する電話番号を選択し、● 【選択】 発信履歴から拒否する電話番号を登録します。
③ アドレス帳引用	▶ 名前を選択し、● 【OK】 ▶ 登録する電話番号を選択し、 ● 【選択】 アドレス帳から拒否する電話番号を登録します。
④ ダイヤルメモ引用	▶ 登録する電話番号を選択し、● 【選択】 ダイヤルメモから拒否する電話番号を登録します。
⑤ 直接入力	▶ 登録する電話番号を入力し、● 【OK】 拒否する電話番号を直接入力します。



着信拒否に登録した電話番号を削除する

着信拒否画面で

② 「指定番号一覧」 ▶ 削除する番号を選択 ▶ ○ (F2) 【メニュー】

以下の項目から選択します。

内容確認	登録内容を確認します。
1件削除	▶ 「はい」を選択し、● 【OK】 選択した番号を削除します。
全件削除	▶ 「はい」を選択し、● 【OK】 すべての登録を削除します。

電話番号を通知してこない着信を拒否する 機能番号423/424/425

以下のような着信を拒否することができます。

- ・ユーザ非通知拒否 : 電話番号を通知してこない
- ・公衆電話発信拒否 : 公衆電話からの発信
- ・通知不可能拒否 : 発信番号を通知する機能がない電話など、何らかの理由で発信番号を通知できない

お買い上げ時：
「解除」

着信拒否画面で

③³「ユーザ非通知拒否」、④⁴「公衆電話発信拒否」、または⑤⁵「通知不可能拒否」

以下の項目から選択します。

① ¹ 拒否メッセージ1	着信拒否をメッセージ1で設定します。 ユーザ非通知拒否の場合：「発信者番号通知がされておりません。電話番号の頭に186を付けておかけ直してください。」 公衆電話発信拒否の場合：「公衆電話からの電話はお受けできません。」
② ² 拒否メッセージ2	着信拒否をメッセージ2で設定します。 「この電話番号からの電話はお受けできません。」
③ ³ 解除	着信拒否を解除します。

- ・⑤⁵「通知不可能拒否」を選択した場合は、①¹「拒否メッセージ」（「この電話番号からの電話はお受けできません。」）と②²「解除」のみが表示されます。

お知らせ

- 「ユーザ非通知拒否」、「公衆電話発信拒否」、および「通知不可能拒否」は、ウィルコムで提供している番号非通知ガードサービスとは異なります。
- 電話番号を通知してこないライトメールも受信できません。
- ①¹「拒否メッセージ1」または②²「拒否メッセージ2」を選択中、Ⓞ（F2）【再生】を押すと、応答メッセージを再生することができます。

拒否した着信の履歴を残す 機能番号426

拒否した着信の履歴を残すかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「保存」

着信拒否画面で

⑥⁶「着信履歴保存」▶「保存」または「破棄」を選択し、Ⓞ【選択】

着信拒否設定をすべて解除する 機能番号427

着信拒否設定をすべて解除します。指定番号拒否に登録した電話番号は削除されます。

着信拒否画面で

⑦⁷「着信拒否全解除」▶「はい」を選択し、Ⓞ【OK】